

はじめ通信

HAJIME TSUSHIN

佐々木 紀 後援会機関紙 Vol. 6



石川県選挙区で岡田直樹先生が当選されました。

一時見え隠れした衆参同日選の可能性が消えた夏、参院選が消費税引き上げ延期の判断やアベノミクスの成果などについては是非を問う機会となりました。おかげさまで与党は大きな信任を得ましたが、成長戦略は道半ばです。今再び解散風が吹く中も政治課題が山積、待ったなしの状況が続いています。

停滞と閉塞の時代に逆戻りさせてはならない！

経済安定へ加速！

より丁寧で力強い政権与党として



7月の第24回参議院議員選挙では、石川県選挙区で現職の岡田直樹候補に、また比例代表では与党に力強いご支援をいただき、ありがとうございます。

この選挙は、政権に復帰して3年半あまり着実に経済回復の道を歩んできた現政府与党が「停滞と閉塞の時代に逆戻りさせたくない」と訴えた戦いでした。その結果、27年ぶりに参議院でも自民党が単独過半数を得ました。

政策論争こそが議会政治の原点

「与党を倒す」という目的だけで突然協力関係を結び、擁立された野党統一候補に苦戦した選挙区もありましたが、政策の違いを



おかだ直樹 安定！かがやく日本、石川

参院選を前にした世論調査や投票所の出口調査では、18〜19歳の新有権者が最も支持を示した党が自民党でした。また自民党支持者のなかでも10代〜30代の支持率が大変高く、40代以上を上回っているという結果が報道されました。かつて「中高年が支持する自民党」と思われがちだった時代とは大きく様変わりしています。政府与党は未来をしっかりと見据え、若者や子どもたちの夢がひろがり、一方で高齢の人々が安心して過ごせる社会づくりのために、いっそう努力することが大切です。

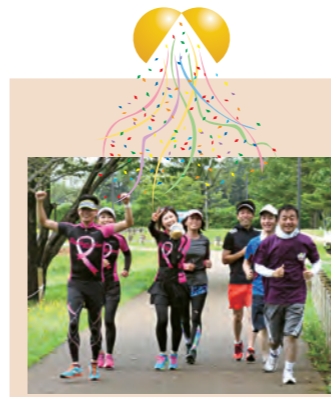
自民党への期待が大きい若者層

今回、選挙の歴史上最大なできごとがありました。選挙権が18歳以上となった最初の国政選挙だったことです。若い年代がどのような意思を示すか気になる場所でしたが、



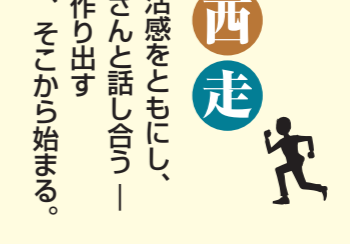
自民党県連 第1回学生会議 第1回「Real Youth Project」

棚上げにした無秩序な姿がいつまでも続くとは思いません。反対一辺倒の姿勢ではなく、対案を出した上、国民目線で真摯に政策議論を尽くすことが必要です。



100kmラン達成!!

6月に友人たちと始めた「ふるさとRUN」。きっかけは参院選が近づき、岡田候補の必勝祈願のためにランニングで神社を巡ろうと考えたことでした。目標の100kmを達成したのは21日目。参院選の投票日前日です。最近の運動不足で体重がオーバー気味でしたが、このランニングで以前の状態を取り戻したのは、岡田候補のおかげ？この日ファイナルランをともに走ってくれた仲間たちにも感謝しつつ、ランニングのあと、急いで選挙戦最終日の応援に向かいました。体調をベストに保って、今年下半期の国政活動に臨みたいと思います。



国政報告会を開催しました。

2月11日の能美市、川北町会場を皮切りに、小松市、加賀市、2月14日に白山市、野々市市と5カ所での新春国政報告会を開催しました。映像を交えて、最近の国政活動をご報告、皆さまからのご意見やご質問にお答えしました。どの会場も、昨年にも増してたくさんのご来場をいただき、立ち見となつてしまった方もたくさんおられました。最後までご参加いただき、本当にうれしく思っております。

そして、6月には衆参同日選挙の準備もかねて各地区合計20カ所での国政報告会を行いました。

2月、6月ともに、たくさんの方々にご来場いただき、感謝と御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

編集後記

オリンピック・パラリンピックに沸いた夏。いよいよ次は東京です。最近のスポーツ界では極めて若い人たちの活躍が目立っていますが、政界では佐々木代議士も若手の一人。学生時代からバレーボールで鍛えた体力と精神力で一心不乱に国政に向かう姿を少しでもお伝えできたら・・・と願ってこの機関紙を編集しています。本号もご高覧いただき深く感謝申し上げます。

一枚の写真

かつての根上町で、町民に信頼され慕われた故森茂喜元町長は、戦時のご体験などから、旧ソ連（現ロシア）との友好関係を大切にされました。現在、毎年能美市内の中学生が少年親善使節団として派遣されていますが、主人も中学2年の時にその団長としてヒオニールを訪問しました。日露外交に大きく貢献された森元町長の友好の思いは、森喜朗元総理に受け継がれ、現在も両国の大切な絆となっています。

～香子夫人が語る佐々木 紀～

北陸新幹線延伸と 白山駅設置に全力で 立ち向かう

北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会では、敦賀から先のルートを3つに絞り込み、国土交通省に各ルートの建設費試算などを今秋までに取りまとめることを要請しました。新幹線効果を南加賀全域に広めるため、さらに延伸計画を加速させるよう、整備促進プロジェクトチーム委員として全力で立ち向かいます。10月には与党整備新幹線建設推進PTのメンバーに新たに加わり、白山駅の設置を求める「福井駅先行開業等検討委員会」と敦賀以西ルートを決める「敦賀・大阪間整備検討委員会」の委員に引き続き選ばれました。



● 与党整備新幹線建設推進プロジェクトチーム 北陸新幹線 敦賀・大阪間整備検討委員会

調査ルートは、
①小浜-舞鶴-京都ルート
②小浜-京都ルート
③米原ルート

金沢-敦賀間 平成34年度末 開業予定

米原ルート
小浜市
舞鶴市
小浜市
京都駅
新大阪駅
大阪駅

東海道新幹線
関西文化学術研究都市付近を通るルートについても参考に調査

● 予算委員会 質疑「新幹線の延伸」

● 北陸新幹線敦賀・大阪間のルートのイメージ(国土交通省の資料より)

Strategy for growth

「地方」の元気が 日本を支える 「成長戦略」の柱

日本の経済は地方の様々な業界の中小・小規模事業者が支えています。中でも九谷焼や山中漆器といった伝統工芸産業はモノづくりの基盤であり日本の文化を継承し、世界に発信することで観光誘客にもつなげることができ、地方の重要な産業です。そのような中小・小規模事業者並びに伝統工芸産業を支援することで地方から日本に活力を与えるよう取り組んでいきます。



● 五輪組織委員会 森喜朗会長への陳情



● 自民党陶磁器文化・産業振興議員連盟 総会

Power of Sports

スポーツの力を社会に活かす



● スポーツ市場拡大に向けた提言活動(菅官房長官)



● スポーツ施設に関する陳情(遠藤五輪担当相=当時)

自民党の「スポーツ立国調査会」における「スポーツビジネス小委員会」の幹事として、スポーツが経済の好循環や人材育成の役割を果たすための政策作りに取り組んでいます。2016年リオ五輪において日本は過去最高のメダルを獲得しました。スポーツには人々に感動をもたらす、勇気づける力、そして地域を盛り上げる力があります。「スポーツ王国石川」といわれるようにスポーツが盛んな石川県。スポーツを成長産業と捉え、地方創生にもつなげます。

科学的根拠と未来展望をもとに エネルギーの ベストミックスを求めて

エネルギー問題は地球規模の重要な課題であり、現在のエネルギー資源が将来枯渇することも考えた長期的なビジョンが必要です。地球の温暖化など、諸問題を総合的に判断した上で、原子力発電や再生可能エネルギーの割合について、与野党の垣根を越えて知恵を出し合い、真摯な議論を急ぐよう努めなければなりません。



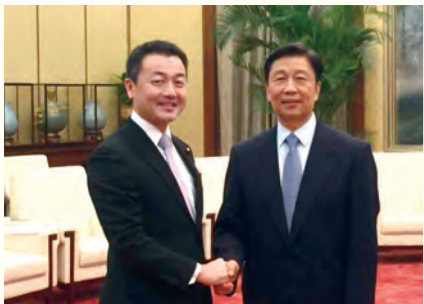
● 経済産業委員会 福島第一原発視察

世界に信頼され、 世界をつなぐ国に

外務委員会に所属して以来、国際問題に関わる機会が多くなりました。世界の国々と良好な外交関係を保つためには、政府間の外交努力に加え、議員外交も重要な役割を果たします。海外市場の開拓や友好関係の構築に努力してまいります。



● サウジアラビア訪問 諮問評議会(サウジアラビアの国会)議員との意見交換会



● 中国訪問(李源潮国家副主席と)



● 自民党青年局台湾研修にて蔡英文総統と



● ラオスの水力発電所の建設現場を視察

災害に強い まちづくりを

各地で起きている自然災害。石川県でも手取川上流の斜面崩落と、それに伴う濁水被害がありました。災害防止策や緑化推進による自然環境の整備など、社会資本の確実な整備等を通じて国民の安心・安全を守るための不断の努力が必要です。



● 白山砂防ダム視察

日本の誇りである絆の心を大切に

4月、熊本で大地震が発生しました。かつて東日本大震災後のボランティア活動で東北の現地を歩いた時を思い起こし、できる限りの復興支援をさせていただこうと、自民党石川県連青年局でも街頭募金を実施し、熊本県に届けました。



● 熊本地震復興支援街頭募金(JR小松駅前)



● 募金を熊本県選出の木原稔議員に